

音楽学部・人文学部教員年次研究報告書

(2001年4月～2002年3月)

昨年の『研究論集』第17号に引き続いて、今年度の『研究論集』にも「教員年次報告書」を組み込むことといたしました。毎年の研究成果の評価を内外から仰ぐことによって、自己研鑽と研究成果の教育への還元がなされればと考えております。この研究業績一覧をみられた方の評価、叱正を『響流』の出版にも反映し、大学の自己点検・自己評価の一環としたいと思います。(掲載はアイウエオ順)

【音楽学部】

小 栗 まち絵

1. 小澤征爾音楽塾 オペラ・プロジェクト II モーツァルト歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」2001年4月1日 神奈川県民ホール、4月4日 愛知県芸術劇場大ホール、4月7日 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、4月9/11日 東京文化会館、オーケストラ・コーチとして参加
 2. 山田耕筰特集「うたとヴァイオリンの夕べ」2001年11月29日 帝国ホテルチャペル(山田耕筰作曲、編曲のヴァイオリン曲：夕べの歌、*Allegretto Brillant*、まきば(朝、昼、夕)、哀愁の日本、泊り舟、荒城の月、からたちの花、野ばら)
 3. いずみシンフォニエッタ大阪「第3回定期演奏会」2002年2月11日 いずみホール 西村朗；悲の河 I～独奏ヴァイオリンと弦楽オーケストラのための～(1997)
- *現在の研究課題・活動状況：ベートーベン：ピアノとヴァイオリンの為のソナタ 2002年10月10日、2003年2月16日、6月19日の3回に分けて神戸松方ホールにて全曲演奏予定。(ピアノ 児嶋一江)

門 屋 菊 子

1. 関西二期会「思い出のあの歌」2001年6月29日 いずみホール プロデュース
2. 山田耕筰公開講座 2001年7月20日 市川西洋館倶楽部
3. オペラ「子供と魔法」M. ラヴェル 2001年12月21日 ウェステイホー

ル ママ役

- *現在の研究課題・活動状況：各声楽コンクール・オーディション等の審査で将来ある新人の発掘につとめている。

木川田 誠

1. 関西二期会演奏会「ドイツ歌曲の流れ」2001年10月10日 いずみホール
R. シューマン作品 ピアノ伴奏：稲垣 聡
2. [プロデュース] 関西二期会「第55回オペラ公演」2001年11月24/25日
G. ドニゼッティ“ランメンモールのルチア”大勝秀也指揮・松本重孝演出
大阪センチュリー交響楽団 原語上演 アルカイックホール
- * [市民表彰] 第36回大阪市市民表彰『文化功労』2001年11月26日
市長公館

黒 坂 俊 昭

1. 「ポーランド・ルネサンス音楽の諸相」『音楽研究』第七卷（相愛大学音楽研究所）2001年3月
2. 「V. ベッリーニのオペラ書法に見られる一側面——オペラ《ノルマ》第一幕第1場アダルジーザとポッリオネの二重唱をめぐって——」『相愛大学研究論集』第17巻 2002年3月
3. 「イタリア音楽」（小学館日本百科大事典ニッポニカ、DVD-ROM版 当該項目）2002年3月予定

斎 藤 達 男

1. 「斎藤建寛リサイタルシリーズ Vol. 2」2001年5月22日 ザ・フェニックスホール バッハ；無伴奏チェロ組曲第2番 ニ短調、ベートーヴェン；チェロ・ソナタ 第1番他
2. 奈良チェンバーアンサンブル「第61回定期演奏会」2001年10月8日 学園前ホール ボロディン；弦楽四重奏曲 第2番、チャイコフスキー；ピアノ三重奏曲 イ短調
3. 「斎藤建寛リサイタルシリーズ Vol. 3」2001年12月4日 ザ・フェニックスホール バッハ；無伴奏チェロ組曲第3番 ハ長調、ブラームス；チェロ・ソナタ 第1番ホ短調 他

高橋 滋子

1. 「JILA Edition 出版楽譜コンサート」2001年6月13日 すみだトリフォニー小ホールにて 「フルート・ソロのためのレクイエム」
2. 「第11回日本歌曲の流れ」2001年10月29日 いずみホール 歌曲「柳もかるく」「木のように」
4. 「2001年新・波の会定期演奏会」2001年11月8日 朝日生命ホール 歌曲「母への挽歌」

辻 井 英 世

1. 作品『ナフタ (NAPHTHA)』東京再演「日本の作曲・21世紀へのあゆみ 2001〈Concert: 20-21〉」委員長：寺西春雄 2001年10月31日 紀尾井ホール（東京）、演奏担当；フルート 小泉浩、ギター 佐藤紀夫、チェロ 松岡陽平
2. 相愛大学附属音楽研究所公開講座「〈コンピューター音楽 2001〉歴史と現在」2001年3月6日 相愛大学厚生棟ホール 講師；沖浩一・岡本久・長嶋洋一 内容；歴史、編集ソフト、ネットワーク諸状況、アルゴリズム作曲、波形生成と信号 処理、音形認識、インタラクティブ状況。

田 中 万美子

1. 「大中恩作品ゼミナール」プロデュース 2001年9月15日 国際楽器社 4 F ホール 講師；大中恩 受講者；高須礼子・河邊敦子・井村美代子・牧野宏子
2. 関西歌曲研究会 第61回演奏会「日本歌曲の流れ（大中恩の夕べ）」プロデュース 2001年10月5日 ドーンセンターホール 出演者；小林正夫・高須礼子・米良俊次・河邊敦子・井村美代子・牧野宏子・坂口茉莉・湯浅富士郎

*主な研究課題：日本歌曲

三 谷 美智子

1. 「日本声楽発声学会関西支部第25回研修会講座」2001年4月22日 相愛学園「合唱・歌唱の基本づくり」（共演 野町健医師）
2. 第5回国際声楽指導者会議日本歌曲の演奏 2001年8月14日（現地）シベリウス音楽院（フィンランド ヘルシンキ）中田喜直；六つの子供の歌より

3. 神戸市垂水音楽協会声楽アンサンブルコンクール審査員 2001年8月25日 舞子ピラホール
- *主な研究課題：ベルカント唱法を医学的・科学的観点よりとらえ、声楽面のテクニックを会得し、演奏と指導法の確立

【人文学部】

相 谷 登

1. 「家族システムと非行についての考察——Family System Test の活用——」『最高裁判所家庭裁判所調査官研修所紀要（調研紀要）』第71号 2001年3月
 2. 「第4ピークの少年非行——凶悪非行少年と薬物非行少年の家族理解——」八田武志編著『シンボル配置技法の理論と実際』ナカニシヤ出版 2001年11月
- *主たる活動：
- a. 大阪府「子ども虐待防止アドバイザー（子ども家庭サポーター）養成研修」講師 講義内容「非行をどう理解するか」2001年9月27日
 - b. 京都文教大学学内講演会 講師 講演内容「司法臨床における心理学の活用」2001年12月6日
 - c. 京都地方裁判所民事部人事訴訟係鑑定人 2001年11月1日受命（現在、離婚等請求事件の鑑定業務進行中）

一 宮 和一郎

1. 「21世紀に生きる新英語科教育法」三友社出版 2001年8月
 2. 「ある英語教師エッセイ・ライティングの試み」黒川泰男（元大阪電気通信大学教授）（三友社出版 2001年8月）の書評を研究所通信「手をつなぐ」161号に掲載。
- *主な研究課題：自我関与法（Ego-Involved Approach）の研究
- *主たる活動：民生・児童委員として、2期目（4年目）

David Blake Willis

1. Creole Times: Notes on Understanding Creolization for Transnational Japan-America, in T. Matsuda, ed., *The Age of Creolization in the Pacific: In Search of Emerging Cultures and Shared Values in the Japan-*

America Borderlands (Keisuisha, Hiroshima, 2001)

2. *Pacific Creoles: The Power of Hybridity in Japanese-American Relations*, in T. Matsuda, ed., *The Age of Creolization in the Pacific: In Search of Emerging Cultures and Shared Values in the Japan-America Borderlands* (Keisuisha, Hiroshima, 2001)
3. *Multicultural and Global Education at the Dawn of the 21st Century: The Ethos and Experience of International Schools*, With Walter Enloe, *Soai Daigaku Kenkyu Ronshu (Annual Research Report Of Soai University)* Vol. 17, March 2001

江 草 浩 幸

1. 「左右反転眼鏡への順応に伴う同側視覚野の活性化——fMRIによる研究——」(宮内哲・藤巻則夫・井丸岡俊秀・田邊宏樹・早川友恵・加藤誠・江草浩幸・積山薫・太城敬良)『脳の高次機能』丹治順・吉澤修治編 朝倉書店 2001年
- * 主な研究課題：a. 色覚と奥行知覚との関連
b. 空間的な S-R 適合性効果を規定する座標系

大 山 小 夜

1. 「多重債務者の生活史——消費者取引をめぐる紛争解決の一事例——」『相愛大学研究論集』第17巻 2002年
 2. 「2000年度 多重債務被害と救済活動に関する実態調査——Aの会における『被害者会員』データ分析——」2001年
 3. 人権文化研究会「『同和問題の解決に向けた実態等調査』報告書」豊中市 2001年
- * 上記1および2は、「2001年度科学研究費補助金(奨励研究A)」 「2001年度相愛大学特別研究助成金」による研究成果の一部である。
- * 同じく3は、「人権文化研究会」(代表:神原文子)の一員として執筆したもので、豊中市から分析の委託を受けて実施されたものである。
- * 主な研究課題：a. 消費者金融・販売信用等による多重債務者に関する実証的研究
b. シカゴ学派社会学の理論と方法論に関する研究

Teresa Cox

1. "Rimrock Revisited: An Ethnographic Study of the Homesteader Community of Fence Lake, New Mexico." (Soai Daigaku Kenkyu Ronshu, Vol. 17, March 2001)

*現在の研究課題・活動状況:

"Improving Communicative Competence through Study Abroad." (Soai Daigaku Kokai Koza, September 16, 2001)

Japanese Students Abroad: Cultural Adaptation and Personal Growth. Interviews with Kansai area returned ryugakusei are being compiled into a documentary film to be used as pre-departure orientation for Japanese going abroad to study.

Other: Attended NAFSA International Educators Conference, June 2001, Philadelphia, PA.

神原文子

1. 「〈教育する家族〉の家族問題」『家族社会学研究』12-1、日本家族社会学会 2001
2. 「部落差別と向き合う子育て」「部落のジェンダー」分担執筆、『部落の21家族』部落解放・人権研究所編 解放出版社 2001
3. 「構造機能論的アプローチ——現代家族のネオ機能分析の試み——」分担執筆、『家族社会学の分析視角』野々山久也・清水浩昭編著 ミネルヴァ書房 2001

*現在の研究課題・活動状況:

- a. 日本家族社会学会における98年実施の全国家族調査の実施・分析に関わるとともに、03年の全国家族調査の実施に向けて、実行委員長として関わっている。
- b. 茨木市より依頼を受け、茨木市における同和地区実態調査の詳細な分析を担当。

北崎契縁

1. 「D. H. ロレンスと仏教との関わりについて——カタルシスと涅槃——」『相愛大学研究論集』第17巻 2001年3月
2. 「D. H. ロレンス批評地図」(松柏社、2001年7月)中、第二部 エスニシティ・フォークロア・ポリティックスの6、「インディアン——ロレンスと

『セント・モア』(キース・ブラウン)と第三部 コメディ・テキスト・パフチンの10、「テキストを解放する——『息子と恋人』の場合——」(ポール・エガート)のそれぞれを翻訳担当。

3. 「D. H. ロレンスとエコクリティシズム——“sense of place” “spirit of place”——を手がかりに」『相愛大学研究論集』第18巻 2002年3月
- *現在の研究課題・活動状況：D. H. ロレンス研究会(京都)において、ロレンスの処女作『白孔雀』ならびに『越境者』論集の出版(朝日新聞社)準備作業に参加中。

北野 裕通

1. 「大地・身体・自覚」『宗教の根源性と現代』第1巻 長谷正當・細谷昌志編 晃洋書房
2. 「大地・身体・自覚——ニーチェ『ツァラツストラ』の場合——」『求真』第7号
- *主な研究課題：a. 禅体験を基礎とした新しい人間学の研究
b. 日本人の思惟方法の研究
- *主な活動： a. 「京都哲学会」の事務局代表として、京都学派の哲学を研究する会を年に2回開催
b. 『京都宗教哲学』第19号の編集責任
c. 第21回「夏期哲学講座」(石川県西田記念館)講師
d. 「岸和田健老大学」(岸和田市福祉総合センター)講師

小松 茂久

1. 「児童生徒調査結果」『学級編成に関する総合的研究』桑原敏明編 多賀出版 2002年3月
2. 「教育行政と教育改革」『人間形成のアイデア』武安宥・長尾和英編 昭和堂 2002年2月
3. 「学校選択と学校統廃合」『現代のエスプリ・学校選択を考える』2001年
4. 「アメリカ総合制高校の理想と失敗——カリキュラム政策史からの考察——」(共著)『月刊高校教育』第33巻8号 2000年5月
5. 「アメリカ都市教育政治史研究の動向と課題——1960年代から1980年代半ばまでの革新主義期研究を中心として——」『相愛大学研究論集』第16巻 2000年
- *現在の研究課題・活動状況：a. アメリカの大都市教育政治史研究

b. 規模と教育行政の相関に関する研究

佐々木 豊

1. “U. S.–Japan Nonprofit Exchange as Cultural Interactions : The Emerging Role of Nonprofit Organizations as Agents of Cultural Transmission and Transformation,” in Matsuda, Takeshi, ed., *The Age of Creolization in the Pacific : In Search of Emerging Cultures and Shared Values in the Japan–America Borderlands* (Hiroshima : Keisuisha, 2001)
2. 書評：馬曉華『幻の新秩序とアジア太平洋——第二次世界大戦期の米中同盟の軋轢』『アメリカ史研究』第24号 2001年
*現在の研究課題・活動状況：アメリカの財団（ロックフェラー財団）と民間研究団体（太平洋問題調査会）との相互関係（1930年代～1950年代）

砂 川 博

1. 「続 琵琶法師に関する二、三の問題」『相愛大学研究論集』第17巻 2001年3月
2. 「『一遍聖絵』とは何か」『時衆文化』第3号 2001年4月
3. 「書評 大橋俊雄著『一遍聖絵』」『時衆文化』第3号 2001年4月
4. 「『一遍聖絵』を読み直す(1)」『時衆文化』第4号 2001年10月
5. 「書評 金井清光著『一遍の宗教とその変容』」『時衆文化』第4号 2001年10月
6. 「書評 藤原正義著『乱世の知識人と文学』」『時衆文化』第4号 2001年10月
7. 『平家物語の形成と琵琶法師』おうふう 2001年10月
*主な研究課題：a. 『一遍聖絵』と時衆教団史研究
b. 『平家物語』の成立研究
*主な活動： a. 研究誌『時衆文化』（年2回）の刊行
b. 時衆文化研究会と一遍聖絵研究会の運営

孫 久 富

1. 「賦と長歌の比較——その発生について——」第五回国際日本語教育日本研究学会論文集に収録 香港中文大学 2001年9月
2. 「賦と長歌の比較——文学思想・性質の異同を中心に——」『相愛大学研究論集』第17巻 2001年3月

*主な研究課題：日中両国の文芸思想の比較

- *主な活動：a. 上代文学学会シンポジウム、パネリスト「生きてゆく古代文学」
b. 平成13年10月より国際高等研究所の招聘を受け、学術フォーラム「日本文学における恋愛」に参加。

千葉 真也

1. 「賀茂真淵の本居宣長宛新出書簡について」『鈴屋学会報』第18号 2002年2月

- *主な研究課題：a. 賀茂真淵と本居宣長の交渉について
b. 『古事記伝』の成立について
c. 本居宣長の文学論と古道論

中西 健治

1. 「伝能因所持本」『枕草子大事典』勉誠出版 2001年4月
2. 「うつくしきもの（第一四六段）」『枕草子大事典』勉誠出版 2001年4月
3. 『風に紅葉』（中世王朝物語全集15 笠間書院 2001年4月）
4. 「『中納言はあまたあり』——浜松中納言物語試注——」『相愛大学研究論集』第18巻 2002年3月

*主な研究課題：浜松中納言物語全注釈

西口 順子

1. 平成11～13年度文部省科学研究費研究成果報告書「中・近世にみる尼門跡寺院の歴史の変遷と生活文化」（共著）

- *主な研究課題：a. 中世公家社会における「家」と尼・尼寺の研究
b. 中・近世滋賀県における絵系図の研究

*主な活動：平成11～13年度文部省科学研究費による京都市及び奈良県の尼門跡寺院（本年度は靈鑑寺・中宮寺）の古文書調査

西迫 成一郎

1. 「自己意識、セルフモニタリング、共感性、統制感、公正感が適切さの基準および問題解決空間に及ぼす効果——行動規範の決定過程に関する研究(2)——」（共著）『関西大学総合情報学部紀要 情報科学』第16号 2001年12月

2. 「問題解決空間の構造——問題認識過程の研究(1)——」（共著）『大阪国際

女子大学紀要』第27-2号 2002年1月

3. 「社会的公正感が、主観的健康感、心理的ストレスに及ぼす効果」『相愛大学研究論集』第18巻 2002年3月

*主な研究課題：公正感と行動基準との関連性、主観的健康感

橋元 淳一郎

1. 『物理IBをはじめからていねいに（熱・波動・電気編）』東進ブックス 2001年6月
2. 『だれも教えてくれない橋元先生のみんなの物理』学習研究社 2001年8月
3. 『量子力学が見る見る分かる』サンマーク出版 2002年1月

本多 至成

1. 「敦煌研究院藏毘婆沙論断卷の研究」『R. Nakasone 博士還暦記念論文集』永田文昌堂 2002年

*主な活動：市民仏教講座「詩人と仏教」（相愛大学）

「金子みすゞ」4月28日・5月16日、「小林一茶」6月23日・7月21日、「加賀の千代尼」10月20日・11月24日、「良寛」2月23日

*主な研究課題：a. 敦煌文書の研究——特にアビダルマ文献の受容と変遷——
b. アビダルマ思想の心理学的解明
c. 西洋からの近代仏教学——仏教の西漸——

山下 昇

1. 『冷戦とアメリカ文学』世界思想社 2001年9月

*現在の研究課題・活動状況：シンポジウム「大恐慌とフォークナー」フォークナー協会 2002年10月

山本 幸男

1. 平成10～12年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（1））研究成果報告書『正倉院に伝来した写経所文書の復原的研究』研究代表 山本幸男、2001年3月
2. 「天平宝字6年～8年における御願経書写関係文書の残存状況」、同上『正倉院に伝来した写経所文書の復原的研究』所収 2001年3月

3. 「天平宝字二年の『金剛般若経』書写——入唐廻使と唐風政策の様相——」
『市大日本史』4 大阪市立大学日本史学会 2001年5月
- *現在の研究課題・活動状況：日本学術振興会平成13年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受けて『写経所文書の基礎的研究』を2002年2月に吉川弘文館より刊行。